

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果		
		1	2	3
学位論文審査基準	1	◎	◎	
	2	◎		○
	3	◎	○	○
	4	○	◎	
	5	○	◎	◎
	6			

人文科学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	尺度5 (S) (特に優秀な成績)	尺度4 (A) (優秀な成績)	尺度3 (B) (要求を満たす成績)	尺度2 (C) (合格と認められる最低の成績)	尺度1 (D) (不合格)
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえた的的確性	先行研究を的確かつ網羅的に把握・分析することを通して、研究課題が極めて明確なものとなり、科学的に追求できるものとなっている。	先行研究を的確かつ網羅的に把握・分析することを通して、研究課題が明確なものとなり、科学的に追求できるものとなっている。	先行研究を網羅的に把握・分析することを通して、研究課題が明確なものとなり、科学的に追求できるものとなっている。	先行研究を網羅的に把握・分析することを通して、研究課題が設定され、科学的に追求できるものとなっている。	先行研究の把握・分析が不十分で明確な研究課題が設定されておらず、科学的に追求できていない。
課題を追求する上で方法論の適切性	日本語日本文学専攻に関する具体的かつ確かな研究作業が丹念に行なわれ、研究課題と研究対象を総合的に位置づけ、それを実証的に解明及び解決する方法が多角的に検討されている。	日本語日本文学専攻に関する具体的かつ確かな研究作業を通して、研究課題と研究対象を総合的に位置づけ、それを実証的に解明及び解決する方法が多角的に検討されている。	日本語日本文学専攻に関する研究作業を通して、研究課題と研究対象を総合的に位置づけ、それを実証的に解明及び解決する方法が多角的に検討されている。	日本語日本文学専攻に関する研究作業を通して、研究課題と研究対象を総合的に位置づけ、それを実証的に解明及び解決する方法について一定の検討がなされている。	日本語日本文学専攻に関する研究作業を通して、研究課題と研究対象を総合的に位置づけ、それを実証的に解明及び解決する方法が多角的に検討されていない。
研究方法及び調査方法の妥当性	様々な研究方法及び調査方法を検討し、最もふさわしいものを適切に選定し、組み合わせることで新たな視角も生み出されている。 また、必要な資料の発見・使用、図・表等による提示、引用、典拠文献の記載を極めて適切に行うことにより、実証の精度や論理性を高めている。	様々な研究方法及び調査方法を検討し、最もふさわしいものを適切に選定し、組み合わせることで新たな視角も生み出されている。 また、必要な資料の発見・使用、図・表等による提示、引用、典拠文献の記載を適切に行うことにより、実証の精度や論理性を高めている。	様々な研究方法及び調査方法を検討し、最もふさわしいものを適切に選定し、組み合わせている。 また、必要な資料の発見・使用、図・表等による提示、引用、典拠文献の記載を適切に行うことにより、実証の精度や論理性を高めている。	様々な研究方法及び調査方法を検討し、最もふさわしいものを適切に選定し、組み合わせているが、必要な資料の発見・使用、図・表等による提示、引用、典拠文献の記載について課題がある。	様々な研究方法及び調査方法を検討し、最もふさわしいものが適切に選定されておらず、必要な資料の発見・使用、図・表等による提示、引用、典拠文献の記載も適切ではない。
結論の妥当性	上記の研究課題、先行研究、研究対象、研究方法及び調査方法から結論が順当に導かれ、科学研究の成果として極めて総合的で一貫したものとなっているとともに、明確な展望も示されている。	上記の研究課題、先行研究、研究対象、研究方法及び調査方法から結論が順当に導かれ、科学研究の成果として極めて総合的で一貫したものとなっている。	上記の研究課題、先行研究、研究対象、研究方法及び調査方法から結論が順当に導かれ、科学研究の成果として総合的で一貫したものとなっている。	上記の研究課題、先行研究、研究対象、研究方法及び調査方法から結論が順当に導かれ、科学研究の成果として一定の整合性がある。	上記の研究課題、先行研究、研究対象、研究方法及び調査方法から結論が順当に導かれていない。
研究の独創性及び研究分野への貢献	日本語日本文学専攻における新領域の発見または新しい視角・方法による調査・実証・論証を高度な一体系として含んでいる。 また、日本語日本文学専攻研究や「国語」教育・外国人への日本語教育において幅広く活用できるものである。	日本語日本文学専攻における新領域の発見または新しい視角・方法による調査・実証・論証を一体系として含んでいる。 また、日本語日本文学専攻研究や「国語」教育・外国人への日本語教育において幅広く活用できるものである。	日本語日本文学専攻における新領域の発見または新しい視角・方法による調査・実証・論証を一体系として含んでいる。 また、日本語日本文学専攻研究や「国語」教育・外国人への日本語教育において活用できるものである。	日本語日本文学専攻における新領域の発見または新しい視角・方法による調査・実証・論証を一体系として含んでいるが、日本語日本文学専攻研究や「国語」教育・外国人への日本語教育において活用するには課題がある。	日本語日本文学専攻における新領域の発見または新しい視角・方法による調査・実証・論証が一体系として含まれていない。
その他	日本語日本文学専攻の国際的な水準において、研究者・教育者としての極めて豊かな学識が認められるとともに、研究倫理を理解し、社会に対する責任を主体的に果たすことができる。	日本語日本文学専攻の国際的な水準において、研究者・教育者としての極めて豊かな学識が認められるとともに、研究倫理を理解し、社会に対する責任を果たすことができる。	日本語日本文学専攻の国際的な水準において、研究者・教育者としての豊かな学識が認められるとともに、研究倫理を理解し、社会に対する責任を果たすことができる。	日本語日本文学専攻の国際的な水準において、研究者・教育者としての一定の学識が認められるとともに、研究倫理を理解し、社会に対する責任を果たすことができる。	日本語日本文学専攻の国際的な水準において、研究者・教育者としての学識が認められず、研究倫理も理解していない。